

令和3年度健康づくり指導者セミナー（企業コース）

第2回実施報告

1. 本セミナーの概要について

【目的】

職場における健康づくりの知識と技術を身につけ、働き世代の健康づくり事業及び健康経営がより円滑かつ効果的に推進されることを目的とする。

【趣旨】

（第1回）「働き世代の健康づくり、健康経営への第一歩」をテーマに、事業所として健康づくり事業に 取り組む意義や会社として目指したい方向性を整理する。

（第2回）「健康経営に取り組むメリット、効果評価」をテーマに、解決したい経営課題や健康経営に 取り組む意義を整理する。

【募集対象者】

今年度は、募集対象者を拡大し、下記のいずれかに該当する者を研修対象とする。

- ・愛知県内企業の管理者
- ・企業において従業員の健康管理に従事する者または従事する予定の者
- ・総務、人事担当者、愛知県内の事業所経営者または従業員の健康管理に従事する職員
- ・愛知県内の事業所における健康管理を支援する団体（医療保険者、商工会議所、市町村等）の職員

【対象者・定員】

（第1回）従業員の健康づくりについて関心がある方、これから取り組みを開始したい方

（第2回）健康経営に取り組んでいる方、健康経営優良法人認定を取得したい方、事業評価に取り組みたい方

定員：80 事業所／回

【参加申込】

「趣旨」と「対象者」を確認の上、受講者自ら希望するセミナーを選択する。両日とも参加申し込みすることは可能であるが、定員を超過する場合、どちらかを優先して受講する。

【日時】

（第1回）令和3年9月2日（木）午前10時から午後3時まで

（第2回）令和3年9月8日（水）午前10時から午後3時まで

【方法】

感染症拡大防止のため、ウェブ会議システム（Webex）を利用したライブ配信型研修とする。

受講者は、事前にウェブ会議システムを利用した接続テスト（基本操作とブレイクアウトセッションの操作の確認）を実施する。

2. 講義・事例紹介

●カリキュラム

令和3年度健康づくりセミナー(働き世代の健康づくりコース) カリキュラム

テーマ：事業所の特性に合わせて取り組む健康経営®

第2回：令和3年9月8日(水)「健康経営に取り組むメリット、効果評価」		
時間	内容	概要
9:30	受付	
10:00	オリエンテーション	
10:10 (60分)	講義 「組織における健康経営の効果測定 ～健康課題の可視化と健康リスクの評価について～」 埼玉県立大学 保健医療福祉学部健康開発学科健康行動科学専攻 准教授 津野 陽子 氏	健康経営に基づく保健・医療情報を活用し、健康課題を可視化する方法を学ぶ。 また、健康・医療情報を活用した「健康経営」の効果測定の分析モデルを学ぶ。
11:10 (20分)	質疑応答	
11:30	昼食	
12:30 (20分)	事例紹介『企業から学ぶ 取組み事例①』 鈴豊精鋼株式会社 総務部総務課 課長 村越 信彦 氏	県内事業所における取組み事例を通じて、体制づくり、実践、評価の工夫点を学ぶ。
12:50 (20分)	事例紹介『企業から学ぶ 取組み事例②』 株式会社ジャパンディスプレイ 管理部人事総務課 保健師 中野 美奈子 氏	
13:10	休憩	
13:20 (60分)	グループセッション(意見交換) 「健康経営のPDCAサイクル」 アドバイザー) 埼玉県立大学 准教授 津野 陽子 氏 鈴豊精鋼株式会社 課長 村越 信彦 氏 株式会社ジャパンディスプレイ 保健師 中野 美奈子 氏 総司会) あいち健康の森健康科学総合センター 保健師、健康経営エキスパートアドバイザー 栄口 由香里	健康経営の事業評価方法や、社外への発信の工夫などについて意見交換し、経営的な視点で戦略を立てる。
14:20 (30分)	発表・情報共有	
14:50	まとめ、諸連絡	
15:00	終了	

講義「組織における健康経営の効果測定～健康課題の可視化と健康リスクの評価について～」

埼玉県立大学 保健医療福祉学部健康開発学科健康行動科学専攻 准教授 津野 陽子様

健康経営を取り巻く状況や考え方の変化、健康課題の可視化の要素となる「健康関連コストの推計」「健康リスク評価」「健康リスクと生産性の関連」について、健康と生産性のマネジメントの重要性について講義いただきました。また、健康経営を推進することで、生産性の維持・改善や医療費適正化の先に組織の価値向上が期待されること、「安全・健康への組織の方針」「支援的な職場環境」「コミュニケーション」から構成される「健康文化」についてお話いただきました。



事業紹介「鈴豊精鋼株式会社の取り組み（企業から学ぶ 取組み事例①）」

鈴豊精鋼株式会社 総務部総務課 課長 村越 信彦様

過去の教訓や現状から、「65歳退職時に好きなことができる社員を送り出す！」という志を持った取り組み事例をご紹介いただきました。健康保険組合とのコラボレーションや、従業員が楽しみながら参加でき、自ら健康な行動へ変容する（「こたえ」をいつか発見してもらう）ことを促すセミナー等多くのヒントをいただきました。「健康経営とは何か」と常に考え、「あきらめない！」と総務担当者のお立場からの姿勢をお話いただきました。



事業紹介「健康経営 ゼロからの立て直し（企業から学ぶ 取組み事例②）」

株式会社ジャパンディスプレイ 管理部人事総務課 保健師 中野 美奈子様

これまでの健康経営認証取得の変遷や健康経営推進活動の立て直しについて、保健師の視点から取り組みをご紹介いただきました。健康経営優良法人の認定制度の変更等により、3年連続の認定が途絶えてしまったことをきっかけとして、改めて課題の分析と共有、推進体制の再構築、関係者間の役割分担、取り組みの評価・改善というステップに分けた推進に取組みられました。健康経営を推進するには、「関係者間で、どこまで本気のコミュニケーションがとれるかが重要である」と実験を踏まえた担当者ならではのお話をいただきました。



グループセッション「健康経営のPDCA サイクル」(意見交換)

1 グループ3~7名、計7グループに分かれて意見交換をしました。近くの地域で顔合わせができるようにグループを構成し、企業、医療保険者、自治体など様々な立場の方と話し合いました。

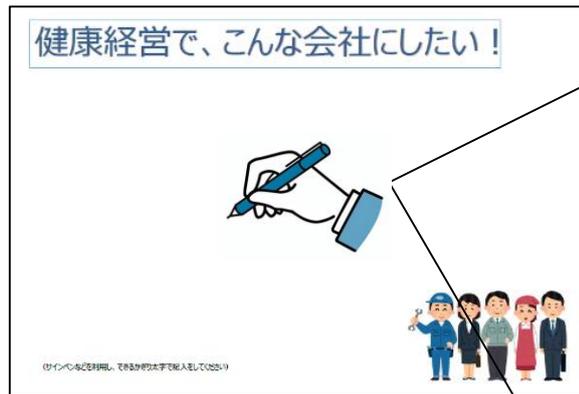
各講義の後にワークシートへの記入時間を設け、各講義で気づいたこと、取り組んでみたいことを個人ワークとしてまとめました。グループセッションでは、その個人シートを用いて、各自が気づきを発表し、グループ内で共通する課題や、取り組みの工夫点などについて意見交換しました。最後に、各グループで挙げた話題や意見を発表していただき、全体で情報共有しました。

研修の最後に、参加者の皆様の率直な今のお気持ちを「健康経営で、こんな会社になりたい！」という用紙に書いていただき、Webカメラ越しから掲げていただきました。

令和3年度健康づくりセミナー（働き世代の健康づくりコース）ワークシート 9月8日用		
氏名 ()		
	気づいたこと、感じたこと 例：「こんな会社になりたいなど」	ご自身の立場でできそうなこと 取り組みたいこと
1	講義 「組織における健康経営の効果測定～健康課題の可視化と健康リスクの評価について～」	
2	事例紹介 「企業から学ぶ取組事例①」	
3	事例紹介 「企業から学ぶ取組事例②」	
4	グループセッション 「健康経営のPDCAサイクル」	

●このシートは、9月15日（水）までのワークシート（午組のみ、印刷は不要）と、アンケートの提出をお願いします。
提出先：あいち健康科学総合センター健康開発部健康推進課
(FAX) 0562-82-0228 (E-mail) yousei@qgn.ahy.pref.aichi.jp

ワークシート



- 「健康経営で、こんな会社になりたい！」
(一部抜粋)
- みんなが健康で働ける会社へ
 - 健康こそ仕事の第一歩
 - 社員も家族も元気な会社！
 - 会社も大事 社員も大事 元気に働き続けられる会社！
 - 伝える、伝わる、を大切にする会社！
 - みんなが健康の話ができる会社になりたい！
 - 垣根を超えた関わりで60歳まで元気に！
 - 従業員にも応募者にもクリーンでホワイトな会社！
 - 人生の最期に「幸せだった」と言える！
 - 健康投資で元気な会社！



研修会の最後は・・・
「健康経営で、こんな会社になりたい！」
を画面に掲げていただきました。



3. 申込者数・受講者数について

【申込者数（申込事業所数）】 67 人（57 事業所）

【受講者数】 57 人（49 事業所：男:25 人、女:32 人）

【受講者の所属】

	企業	医療保険者	行政	その他
人数（人）	29	11	9	8
割合（％）	50.9	19.3	15.8	14.0

【受講者の職種（役職）】

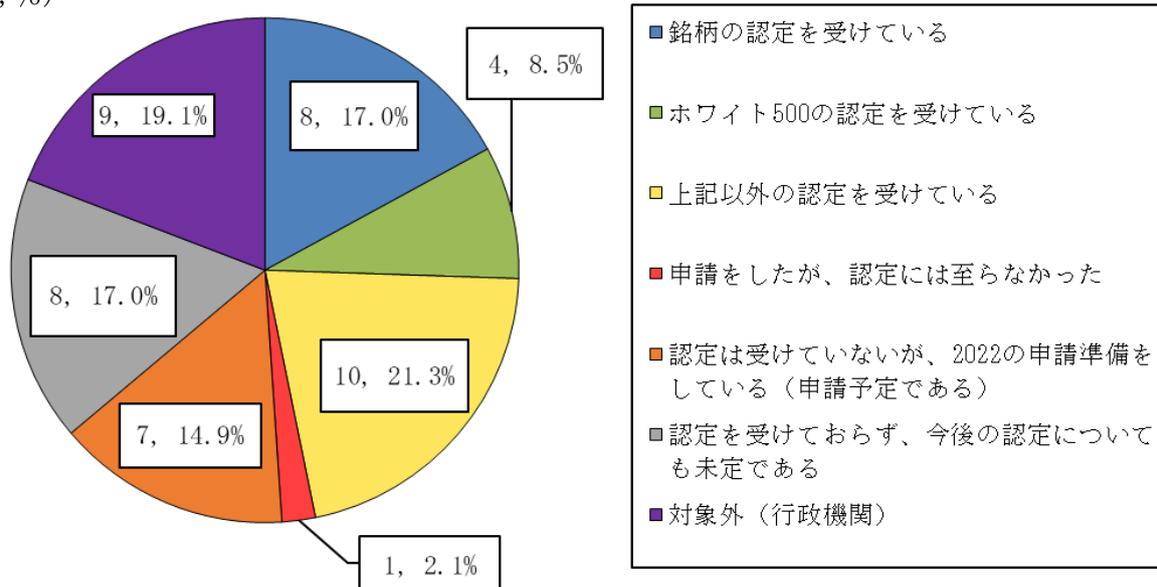
	保健師 （看護師）	管理栄養士	役員級	管理職級	事務	その他
人数（人）	22	2	6	4	21	2
割合（％）	38.6	3.5	10.5	7.0	36.8	3.5

4. アンケート結果について

【回収状況】 47 人（回収率 82.5％）

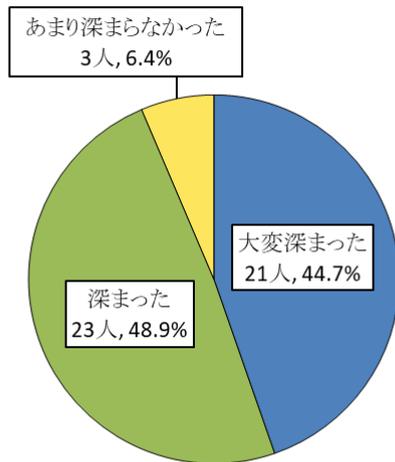
【健康経営優良法人 2021 の認定状況及び取り組み状況】

（人，％）

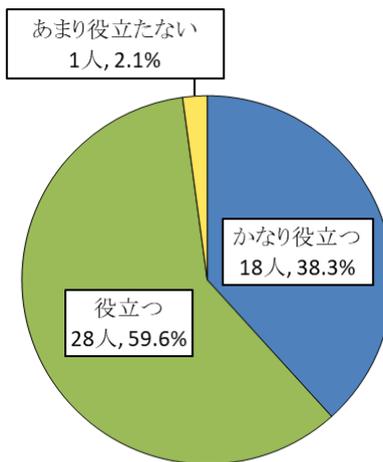


【質問項目のまとめ】

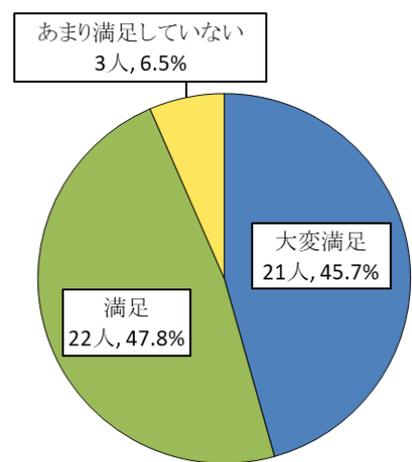
1) 理解度



2) 役立ち度



3) 満足度



4) 今回のセミナーを受講して、どのようなことから始めてみようと思いますか？（一部抜粋）

（企業）

- ・ 健診の受診結果をデータで可視化する。
- ・ 禁煙対策！ポスターを今より目につくところに掲示することから始めたい。
- ・ 優良法人認定だけでなく、取り組みを社内外への浸透するための活動をする。
- ・ 改めて個々のコミュニケーションが大事であると感じたので、まずは私から社員の皆さんへ声掛けをする機会を意識して増やそうと思う。
- ・ まずは、上司・総務に健康経営について働きかけをする。
- ・ 健康が大切であることを理解してもらうためには、理解を得るまで言い続けることが必要だと知ったため、色々な伝え方を考えていきたい。
- ・ 未知数なことばかりだが、優良法人認定 2022 の申請をしたいと思う。

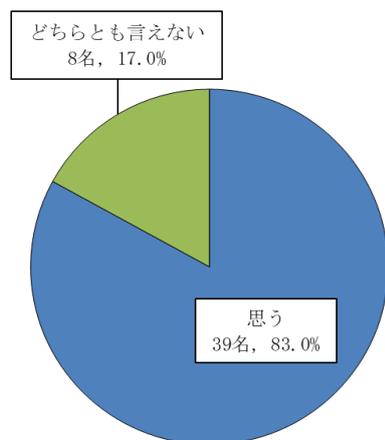
（医療保険者）

- ・ 加入事業所とコミュニケーションをとりたいと思う。
- ・ 加入事業所に健康経営のメリットを伝え、推進する。
- ・ 加入事業所の課題やニーズを聞き、セミナーを開催する等、協力したいと思う。

（行政）

- ・ 健康宣言企業を増やし、市の保健事業も活用してもらい、取り組みをサポートしたい。
- ・ 企業向けの健康経営に関するプレゼン資料を見直していきたいと思う。
- ・ 気軽に健康情報を取得できるような媒体の作成を進めようとする。
- ・ 職域の健康課題解決のため、先進的な中小企業の取り組みを紹介したい。

5) 今後も web でのセミナー開催があれば、受講したいと思いますか？（理由は一部抜粋）



「思う」と回答した者の理由

- ・現地に出向く時間やコロナ対策を考えると、ウェブは受講しやすい。
- ・プラザでの受講だと一日がかりになってしまうので、気軽に受講できるウェブの開催も良いと思う。
- ・以前よりもウェブでのセミナーや会議に慣れてきた。

「どちらとも言えない」と回答した者の理由

- ・初めてウェブで参加したが、音声途切れたりするため、やはり会場受講の方が、理解が深まると思った。
- ・コミュニケーションがとりづらく、もっと話を聞いてみたくてもなかなかできない。

6) 受講者の感想や意見（一部抜粋）

- ・組織における健康経営の効果測定が大変参考になった。
- ・最新の分析結果はもちろん、企業の取り組み事例も医療保険者としてとても参考になった。
- ・健康経営優良法人申請に関する情報を取得することをセミナー参加の目的としていたが、いろんな企業・立場の方との考えを聞く事ができて、ただ申請して認証を受けるだけでなく、意味のある活動にしないといけないと感じることができて良かった。
- ・集合研修でないのは残念だが、しっかり情報交換できたと思う。
- ・中小企業向けと大企業向け双方の話があった点が良かった。
- ・可能であれば、同じ業種で同じくらいの規模の会社と同グループになれば、もっと沢山の取り組みや問題点が聞けたかと思う。
- ・立場の違いで聞きたい内容が違うのかなと思った。
- ・配信を zoom 等一般的なウェアにしてほしい。
- ・グループセッションのテーマが曖昧だった。

7) 次回の研修テーマについて（一部抜粋）

- ・企業におけるコミュニケーションの促進に関する取り組みの推進方法や事例。
- ・従業員の健康意識の高め方、必要性について理解してもらうための方法（底上げを図りたい）。
- ・取り組み内容の具体的事例共有（失敗談含めて）。
- ・若年の従業員に対する健康づくり啓発活動。
- ・社員の禁煙支援。
- ・中小企業で食生活改善に取り組んでいる事業所の紹介。